

修学旅行や校外学習等の体験活動時における
新型コロナウイルス対策ガイドライン(5 類移行第 1 版)

沖縄体験ニライカナイ

2023 年 5 月 10 日

1. 本ガイドラインについて

新型コロナウイルス感染症対策について、令和5年4月28日に文部科学省は、5類感染症への移行後の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の改定を行いました。

本ガイドライン作成に当たり、そのマニュアル及び一般社団法人日本旅行業協会の「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き(令和5年3月13日施行・第7版)」、アクティビティツアー連絡会の「アクティビティツアー向け新型コロナウイルス対策ガイドライン(第4版)」等も参考に見直しを行いました。

今回の見直しは、これまでの「法律に基づき行政が要請・関与をしていく仕組み」から「個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取組をベースとしたもの」に変わったことを受けて行いました。また、これまでの業種別ガイドラインは廃止され、今後は各事業者の判断と自主的な取組になりました。

弊社では、これらの方針や改定を受けて、感染状況が落ち着いている中でのマスクの着脱の要請は行わず、学校様のご方針や各体験者様の判断を尊重して対応いたします。但し、これまでと同様に感染症対策の基本的な取組の、事前の体調管理の依頼や手洗い場所や消毒液の設置、器材や体験場所の適度な消毒、密の回避、適切な換気は続けて行います。

2. 新型コロナウイルス感染対策の基本について(高山義浩医師資料参考)

どこにいる

- ・感染している人が触れた場所
- ・感染している人から2メートル以内
- ・感染している人のいる密閉された空間

どうやってうつる

- ・感染している人が触れた場所を触って、自分の目鼻口を触る(接触感染)
- ・感染している人から2メートル以内に、マスクを着用せずにいる(飛沫感染)
- ・感染している人のいる閉鎖された空間で、一緒に長時間過ごす(エアロゾル感染)

どうすればいい

- ・感染している人が触れた可能性がある場所に立ち入らない、または消毒する。
- ・感染している人から2メートル以内に立ち入らない、またはマスクを着用する
- ・感染している人のいる閉鎖空間に立ち入らない、または換気をよくする。

3. 具体的な対策について

1) 弊社スタッフの健康管理について

- ・ 毎日、営業開始前に体温と症状の有無を記録・保存し、新型コロナウイルス感染症と疑われる症状が発生した者は自宅待機にします。
- ・ 体温は各人の平熱を基準に1度以上の場合は、その他の症状がない場合でも帰宅させ自宅待機とします。
- ・ 勤務前や休憩後、外出帰社後を含め定期的に手指消毒用ソープ又はアルコール消毒液を使用します。
- ・ スタッフには不織布マスクを配布し、適切な使用を促します。

2) 指導員、受入担当者の体験者様への対策について

- ・ 指導員や受入担当者が出勤前に体温と症状の有無を記録・報告後、新型コロナウイルス感染症と疑われる症状が発生した者は、予備スタッフと交代します。
- ・ 体温が平熱を基準に1度以上ある者は、その他の症状が全くない場合でも指導させずに、自宅待機とします。体験者が新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良時は、体験への参加や来場をお断りしています。※下記3)参照
- ・ 定期的に消毒用ハンドソープで手指洗いをしっかりと行うことを徹底しています。手洗場がないところやハンドソープが使用出来ない場所では、アルコール消毒液を準備し、適切に消毒出来るようにしています。
- ・ スタッフは不織布マスクを着用し、密集や密接にもならないように徹底いたします。
- ・ 体験の内容や状況によりハンズフリー拡声器を装着して指導を行います。
- ・ ユニフォームやエプロン、衣服等はこまめに洗濯いたします。

3) 新型コロナウイルス感染症が疑われる場合(体調不良時の相談について)

- ・ 同感染症が疑われる事例が発生した場合は、「旅行者専用相談センター沖縄・TEL.098-840-1677(9時～18時・令和5年9月まで継続予定)」にご相談下さい。

※沖縄県として来県予定の方に向けて、

「旅行前の健康管理と感染に備えて薬を多めに持参」、
「濃厚接触が疑われる場合は民泊をホテル泊に予定変更」、
「体調が優れない場合は来県を延期か中止」、
「各観光施設の感染対策へのご協力」、
「体調不良の際はホテルで休む」
ことなどを推奨しています。

4) 沖縄体験ニライカナイの主な体験プログラムについて

★ニライカナイのふれ愛感動体験eeプラン(2023年4月～2025年3月)は、感染対策をしてお引受出来る持続可能な感動体験プログラムで構成しています。

- ①サトウキビ・・・弊社キビの不作により10～5月までの間で1日1校程度の限定引受
※界面活性剤入り洗剤又は流水で消毒後にキビを試食、煮沸消毒後にキビジュースを試飲する体験。プランにより黒糖作りも行います。
- ②沖縄菓子・・・抗菌及び抗酸化作用もある月桃の葉摘みとお菓子作りを、少人数班で常時換気可能施設において作る体験
※コロナ禍前は1テーブルで6～7名でしたが、2(又は大1)テーブルを4～5名にて実施(2テーブル120cm×180cm、大テーブル90cm×180cm)
- ③漆喰シーサー・・・抗菌作用もある強アルカリ性の漆喰を使用し、常時換気可能施設での個人毎に作る体験
- ④サンシン・・・感染状況が落ち着くまでは、スクール形式で距離を取り、常時換気可能施設で実施(感染状況により唄わない講座にすることも出来ます)
- ⑤エイサー・・・感染状況が落ち着くまでは、十分な距離が取れる常時換気可能施設で実施
- ⑥海細工・・・自然海岸での素材拾いと常時換気可能施設でのアクセサリーやジェルキャンドル、ガラス細工等を個人毎に作る体験
- ⑦イノー・・・自然海岸でのビーチトレッキングと生き物探し(荒天時はマリクラフト)
※マリンシューズは事前に次亜塩素酸ナトリウム液で消毒を徹底
- ⑧洞窟探検・・・小川も流れ出入り口が異なる洞窟内での鍾乳石や生き物の観察を行う自然体験
- ⑨護岸釣り・・・恩納村の漁港の護岸でのキャッチ&リリースの体験
- ⑩シーカヤック・・・カヤック講習とビーチ探検を更衣室等も密にならないように実施
※事前に参加承諾書兼健康調査票を提出していただいております。
- ⑪シュノーケリング・・・シュノーケリング講習とビーチ探検を更衣室等も密にならないように実施
※事前に参加承諾書兼健康調査票を提出していただいております。
- ⑫サンゴ・・・自然海岸観察と換気可能施設でのサンゴの苗作りやマリクラフト作り

5) 沖縄体験ニライカナイの感染対策の具体的な内容について

- ・新型コロナウイルス対策は、主に5項目の対策(消毒、健康管理、換気、社会的距離、マスク着用)から構成され、以下に内容の詳細を示します。

項目	具体的な内容
消毒 (手指・環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗場がある施設においては、常備した消毒用ハンドソープで行う ・手洗場がない場所では、手指消毒用アルコール消毒液(65~82vol%)を設置 ※アルコール濃度 70vol%未満分は消毒効果が確認された界面活性剤入を使用 ・体験中に体験者や指導員が触れる設備や器具について、適宜、アルコール除菌スプレーやアルコール除菌タオルで消毒する ・マリン体験等のウエットスーツやシュノーケル、マスク、マリンブーツなどは次亜塩素酸ナトリウム液に 30 分以上浸すか完全消毒出来る消毒方法を使用
健康管理 (スタッフ・体験者)	<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフは営業開始前に体温を測定し、体温を記録し本部に報告をする ・全スタッフは営業開始前に症状の有無を確認し記録する。症状があれば本部に報告をして指示を受けること(指導は出来ないなので、個別作業か自宅待機) ・体験者にも事前の健康チェックをお願いしています
換気 (密閉対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・開放施設のやまだ体験広場内多目的施設や、まえた体験館のテラス利用の体験以外の施設での体験は、2方向以上の窓を常時開けておくことを基本とし、エアコンや扇風機、ヒーター等で温度管理も注意深く併せて行う ・屋内施設での体験中には、少なくとも途中1回は窓を開けて換気を行う ・公共施設等で換気が出来ない箇所は、出入口のドアを開放する
社会的距離 (密集対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員は学校側の感染対策の要望に応じ、当面の間は生徒と距離保ち、マスクを着用して説明を行う ・当面の間、指導員は体験開始から終了・出発まで体験者には接触をしない ・やまだ体験広場やまえた体験館は人数制限を行い、マリブビーチ、ミッションビーチの更衣室等も出来る限り、利用時間中は密にならないように努める ・青の洞窟シュノーケリングにおいて、公共施設の真栄田岬内更衣兼シャワー室は貸切対応が出来ないので、利用時は注意を促す ※青の洞窟内が密となる可能性が高い日は他のビーチに誘導を検討する
マスク着用	<ul style="list-style-type: none"> ・体験者にはマスクの着脱を本人の判断に任せることにする ※学校側方針が独自にあれば、出来る限り優先して学校方針に従う ・屋内施設で指導する場合は、当面の間、指導員はマスクの着用を行う ・屋外でも生徒と対面して説明等を行う場合は、当面の間、指導員はマスクを着用して説明を行う